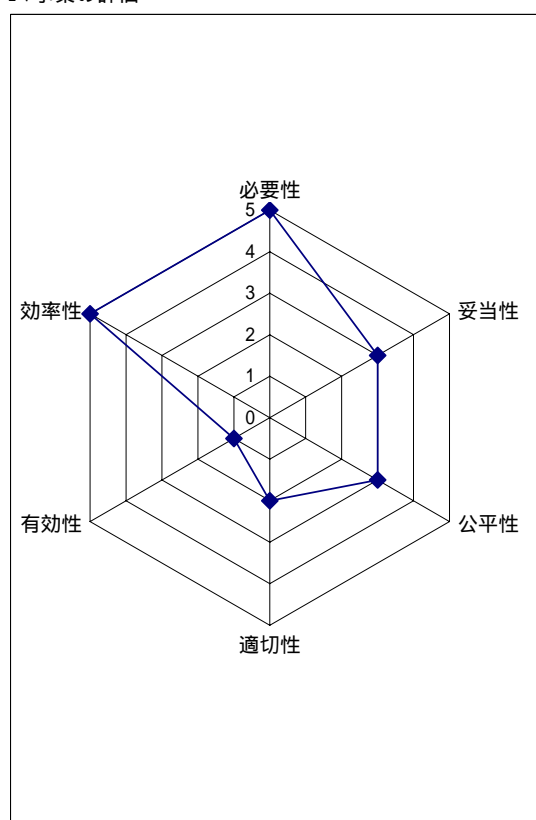


事務事業名	(株)TMO結城支援事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	豊かなふれあいとにぎわいのある商業・観光の振興	担当係名	TMO担当
施策	中心市街地の活性化を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	中心市街地の活性化を実現するため設立されたTMO結城を行政としてバックアップすることにより、行政と会議所、商店主が協力して事業を行わせることにより活性化に資する。		
事業の期間(開始/終了)	平成16年 4月/ 年 月		
根拠法令、条例、規則など	中心市街地活性化法		
事業が対象としている人(モノ)	(株)TMO結城の収支		
具体的な活動内容	中小企業振興公社助成事業補助申請、実績報告		
	イベント企画、準備、開催(会議、手配、経理ほか)		
	ホームページ立ち上げ(会議、手配、経理ほか)		
	会社運営(会議招集開催、経理、収益事業ほか)		
事業の成果	振興公社の補助により各種イベントが実施できた		
	イベント実施について、朝光会、商連、まち研などに主体的に実施させることが出来た		
	株主にもTMOの運営に参加させることが出来た		
	委員会が当初掲げた課題をクリアした委員会があった		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 中心市街地の停滞は進んでおり深刻である。新市街地がにぎやかになってきており、時代の流れで仕方がないが、それでも多数の市民が居住しており商業はもちろん、高齢化やコミュニティなどの対策も必要と考える。
	3 どちらとも言えない 都市計画や基盤整備、交流人口増加策などは行政が行うべきことであるが、商業の活性化は支援は出来ても商売の中身については企業努力しかないので役割分担を明確する。TMOはまさに共同で進める機関であることから、なくてはならないものである。
妥当性	3 どちらとも言えない 商連、朝光会、まち研など幅広い方々と協力し合って事業実施してきたので、みんなで盛り上げようという点では偏っていないが、イベント開催場所は限られてしまったためにぎやかさの恩恵を受けられる区域は限られてしまう。また、参加呼びかけに応じない区域もあり手を挙げたところだけになるのは仕方がない。
	2 現在のやり方(手段)には、やや問題がある 中心市街地商業等活性化基本計画策定時と状況が変わってきており、計画の見直しが必要。国でも都市計画法、中心市街地活性化法を改正し新たに方針を打ち出したことから、新基本計画策定の必要があると考える。
有効性	1 目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である 商業については、年々空店舗が増えており、新規開店は1店であるが、TMO結城を中心に空地・空店舗対策委員会を設立して、空店舗の活用を検討するほか、街なかの賑わいと観光誘客を図るべくソフト事業を進める上で役割を果たしている。
	5 効率性は相当高められている(相当なコスト低減が図られている) 会社としては、当初会社採用職員を雇用していたが、会議所採用に切り替えたため経費はかからなくなった。

総合評価	現在営業中の店舗の保護政策は手がないし消費者も望んでいないのではないかと。ということは外部からの店や商売変えを促進することを誘導する手立てを考へるべきか。まちなか居住を促進するにも基盤整備が必要(土地の広大化共同化、公園、歩道整備、コミュニティ施設など)と考へる。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	空店舗が増えている状況で、中心市街地活性化対策として専門部会を設立し検討を進めているが、具体的対策が進まないのが現状である。今後、意向調査を実施して活性化を図る。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	活性化を図るための推進体制が整い、意向調査の分析を行い、今後、具体的推進事業を展開する。			